

令和2事業年度に係る自己点検・評価書 (ダイジェスト版)

令和3年11月22日
国立大学法人兵庫教育大学

1 本自己点検・評価書について

本学では、年度計画を毎年度策定し、学校教育法第109条第1項（自己点検・評価）に定められている自己点検・評価として、評価委員会が年間を通して「国立大学法人兵庫教育大学点検・評価規程」、「兵庫教育大学自己点検・評価実施要項」に基づき計画の進捗状況を評価しています。

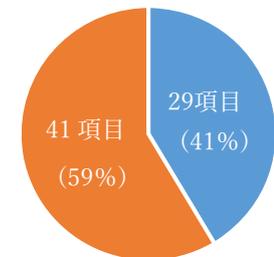
また、令和2年度から大学運営及び教育研究活動に係る自己点検・評価も実施しています。

本自己点検・評価書は、自己点検の結果のうち重要な内容についてわかりやすく取りまとめ、本学の教育・研究・社会連携等に関する情報を積極的に地域・社会に説明するものです。

2 年度計画に係る自己点検・評価結果の概要について

令和2年度は、年度計画70項目を設定して実施しました。それぞれについて、4段階（Ⅳ：年度計画を上回って実施している。Ⅲ：年度計画を十分に実施している。Ⅱ：年度計画を十分には実施していない。Ⅰ：年度計画を実施していない。）で評価を行いました。Ⅳ評価は29項目、Ⅲ評価は41項目となり、Ⅰ、Ⅱの評価はありませんでした。

このことから、順調に年度計画を実施していると考えられます。



■Ⅳ評価 ■Ⅲ評価
年度計画の自己点検結果
(全70項目)

3 特筆すべき年度計画の取組について（IV評価の取組の一例）

① 新しい指導方法を取り入れた授業実施に関する計画

（年度計画 02、05 及び 08）

社会情勢に鑑み、前期の全授業科目をオンライン授業とし、教育支援システムを用いた非同期型、ウェブ会議システムを用いた同期型で実施するなど、ICT等を用いた新しい教育方法を取り入れました。また、後期においても、対面授業とオンライン授業（同期型・非同期型）を組み合わせ実施しました。

オンライン授業実施にあたっては、学生に対して、授業の受け方等に関するウェブページを作成・周知し、必要な機器（タブレット端末やモバイル Wi-Fi ルーター等）を貸与するなど、学修支援に努めました。



オンライン授業形式での授業実施に向けた準備についてウェブページ

<https://www.hyogo-u.ac.jp/visitor/student/online.php>

② 修士課程及び専門職学位課程における入学者選抜に関する計画

（年度計画 19 及び 20）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、本学ウェブサイト上に「WEB 大学院説明会」のページを掲載することにより広報活動を行い、ウェブ会議システムによる個別説明会を行いました。

また、同感染症拡大防止のため、入学者選抜方法を対面からオンラインによる口述試験等に変更し、受験者の安全を確保した上で、トラブル等なく実施することができました。

令和4年度入学者選抜についても、オンラインによる口述試験を実施します。



https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/master/web_explanation.php

③ Society5.0 や STEAM 教育等の先端的な研究開発に関する計画

(年度計画 25 及び 52)

教員養成・研修高度化センター内の先端教育研究開発コアに Society5.0 や STEAM 教育等の先端教育研究に関する調査・研究を行うための 10 チームを設置しました。

デジタル教科書チームにおいては、デジタル教科書の活用実態調査を行い、同チームが中心となって実施した学習者用デジタル教科書に関する調査研究の成果を学会で発表しました。

また、EdTech チームでは、先端技術を効果的に取り入れた ICT 活用指導力を持つ教員の育成を目指した大学・大学院のあり方に関する研究を行い、同チームが中心となって実施した 2020 年度前期「Society5.0 研修会（本学における Society5.0 及びオンライン授業支援等に関する研修）」に関する成果と課題を論文にまとめ、発表しました。

兵庫教育大学 研究紀要 第58巻 2021年2月 pp.31-38

兵庫教育大学における Society 5.0 に向けた取り組み
—2020 年度前期における「Society5.0 研修会」の実施と評価—

Actions at Hyogo University of Teacher Education for Aimed at the Implementation of Society 5.0: Enactment and Evaluation of Society5.0 Workshop during the First Half of 2020

永田 智子* 小川 修史** 掛川 淳一** 阪上 弘彬***
NAGATA Tomoko OGAWA Hisashi KAKEGAWA Junichi SAKAUE Hiroaki

徳島 祐彌*** 福井 昌則**** 森 広 浩一郎* 森山 酒*
TOKUSHIMA Yuya FUKUI Masanori MORIHIRO Koichiro MORIYAMA Jun

吉水 裕也*****
YOSHIMIZU Hiroya

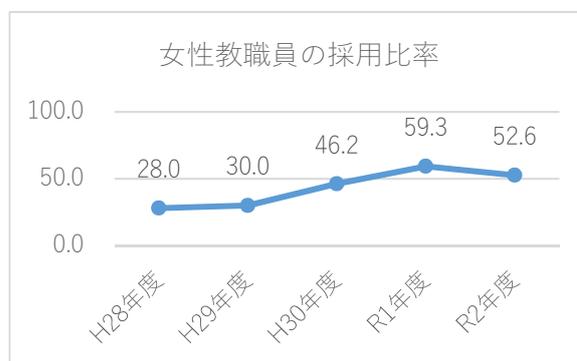
本研究は、Society 5.0 に向けて取り組み始めた兵庫教育大学において、2020 年度前期に実施した「Society5.0 研修会」を紹介するとともに、教職員に対するアンケート調査によりその研修会を評価することを通して、現状と課題を明らかにしようとするものである。本稿では、まず、2020 年度前期までの兵庫教育大学の Society 5.0 に向けた取り組みの経緯を述べた。次に、2020 年度前期に Society5.0 研修会として実施した 6 回の研修等の詳細について紹介した。最後に、教職員対象に実施したアンケート調査の結果を分析・考察した。多くの教職員は研修が役に立った、満足したなど高く評価していることが明らかになった。また今後も広範囲における研修の実施を希望していることがうかがえた。今後、これらの意見を踏まえた上で研修を検討し、より充実した研修を行う必要があると考えられる。

キーワード：Society 5.0、教員養成大学、研修会、オンライン授業、ICT
Key words: Society 5.0, university of teacher education, workshop, online lecture, ICT

兵庫教育大学研究紀要第 58 巻 pp.31-38 (2021)
<http://hdl.handle.net/10132/19384>

④ 男女共同参画に関する計画（年度計画 54）

出産・育児、介護を行う教職員への支援制度を掲載したウェブページをリニューアルしました。制度ごとに申請書類等を掲載するなど、利用者にとってよりわかりやすいものとししました。教職員が職業生活と家庭生活を両立できるよう、支援制度の積極的な活用推進に取り組んでいます。



また、就職希望者への説明会（事務職）において女性職員が業務説明を行う取組等を継続し、女性教職員の採用比率は、昨年度に引き続き 50% を越えています。

⑤ 寄附金に関する計画（年度計画 57）

学生の夢をつなぐため、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済的困窮学生支援プロジェクトを立ち上げ、同プロジェクトのウェブページを作成するなどの広報を行い、募金活動を行いました。みなさまからのご寄附により、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済的被害・損失を被った学生を対象とした学費の一部を免除する等の緊急支援を実施しています。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済的困窮学生支援プロジェクト

夢をつなぐ

緊急募金のお願い



皆様には、日頃から兵庫教育大学の発展にご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございます。
 現在、新型コロナウイルス感染症は世界中で猛威をふるい、これまでに例をみない被害が生じております。本学においても、入学式等の行事の取りやめ、対面授業の中止、学生のキャンパスへの立ち入り禁止、教職員の出欠調整など実情の巻戻に見舞われました。
 この非常時の難局に当たり、本学では、オンライン授業の導入を進めるなど学生の学びの機会を確保するための努力を続けておりますが、学生たちは、他学や課外活動等に充分参加することができなくなり、不安な日々を過ごしています。中には保護費等の家計負担や学生のアルバイト収入減などで生活が苦戦し、卒業の継続に支障をきたしている学生もいます。
 窮地に立たされている学生に対し、本学としてできる限りの支援をしていくため、兵庫教育大学基金の学生への学費支援事業の一環として、

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済的困窮学生支援プロジェクトウェブページ
https://www.hyogo-u.ac.jp/covid19_kikin_project.php

⑥ 情報発信に関する計画（年度計画 63）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、オンラインで「WEB 大学院説明会」を開催するなど、ウェブサイト上での積極的な情報発信の結果、アクセス数が飛躍的に向上しました（前年度比 1.5 倍）。

また、トップページのメインビジュアルを毎月更新し、SNS を利用した動画配信や情報発信にも積極的に取り組むなど、新たな閲覧者の獲得に努めました（動画視聴数前年度比 3.9 倍）。

キャンパスだより (Instagram)



兵庫教育大学ウェブサイトトップページ
<https://www.hyogo-u.ac.jp/>

4 大学運営及び教育研究活動に係る自己点検・評価結果について

兵庫教育大学自己点検・評価実施要項に定める自己点検・評価項目一覧により実施した教育研究活動にかかる自己点検評価について、評価委員会において全ての課程において基準を満たしていると判断しました。

[教育について]

令和2年度においては基準を満たしていると判断する。

学位授与方針、教育課程方針が明確であり、整合性があること。学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること。学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること。障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること。教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること。大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業判定が実施されていること。大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること。以上の理由による。

[研究について]

令和2年度においては基準を満たしていると判断する。

教員の研究活動が推進されており、学会発表や論文発表により成果が公開されている。外部資金への応募が行われており、学内の研究費配分も行われている。

[施設・設備について]

令和2年度においては基準を満たしていると判断する。

施設が整備されており、耐震化、バリアフリー化も行われている。防犯面での対策が講じられている。教室が整備されている。ネットワークが整備されており、適正に管理されている。学生の自主的学修環境も整備されており、利用可能な状況であり、学生に周知されている。

特別設備（CALL 教室等）が整備されている。

なお、特別設備（CALL 教室等）利用状況については、各専攻・コースにより管理されており、事務組織において把握されていないことを確認した。

[学生支援・学生受入について]

令和2年度においては基準を満たしていると判断する。

十分なキャリア支援が行われている。留学生への受入、支援体制が整っている。障害学生への支援体制があり、機能している。アドミッション・ポリシーに基づいた入学者選抜が行われている。入試区分ごとの分析を行い、改善の検討が行われている。

(別表)

自己点検・評価項目一覧

点検項目		実施時期	担当委員会等	担当事務組織等	評価基準	機関別認証評価 分析項目番号
教育	ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の具体性、明確さ	改定時	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）が 具体的かつ明確であること	分6-1-1
	カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）の具体性、 明確さ	改定時	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実 施の方針）が具体的かつ明確であること	分6-2-1
	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの整合性	改定時	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリ シーの整合性があること	分6-2-2
	教育課程の体系性	改定時	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会 教育改善推進室	学務課	教育課程が体系的であり、学生が履修計画を 立てる際に必要な情報が周知されていること ※教員養成スタンダード（学部，大学院）に 基づき、教員として最低限必要な資質能力を 身につけさせる教育課程になっているか確認 を行う。 ※教育実践学コンピテンシー（連合大学院） に基づき教育実践学に関する研究を行い、教 育（指導）することのできるコンピテンシー を身につけさせる教育課程になっているか確 認を行う。	分6-3-1
	各授業科目の内容（学位の授与に相応しい水準であること）	毎年度	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	各授業科目の内容が学位の授与に相応しい水 準であること	分6-3-2
	本学以外での学修の単位認定に関する規則	改定時	学部教務委員会 大学院教務委員会	学務課	他大学等での学修内容に関する単位認定に関 する規則が策定されていること	分6-3-3
	研究指導体制、修学指導体制の整備状況（大学院）	毎年度	大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	指導教員を定めていること、指導計画を策定 した上で指導することとしていること	分6-3-4
	授業期間の確保の状況	毎年度	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	授業期間が原則として35週確保されているこ と	分6-4-1
シラバスの適切な記載と学生への周知の状況	毎年度	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	シラバスに記載すべき項目が適切に記載さ れ、学生へ周知されていること	分6-4-3	

点検項目		実施時期	担当委員会等	担当事務組織等	評価基準	機関別認証評価 分析項目番号
教育	授業科目を担当する教員	毎年度	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	教員免許状取得のための（主要な）授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	分6-4-4
	現職教員の就学に配慮した教育の実施状況（大学院）	毎年度	大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	現職教員の就学に配慮した教育の実施方法を採用していること	分6-4-6 分6-4-9
	履修ガイダンスや履修指導の実施状況	毎年度	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	履修ガイダンスや履修指導が適切に実施されていること	分6-5-1
	学修相談体制の整備状況	毎年度	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	学修相談体制が整備されていること	分6-5-2
	実地教育の実施状況	毎年度	教育実習総合センター	教員養成・研修 企画室	実地教育が適切に実施されていること	分6-5-3
	障害のある学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学修支援体制の整備状況	毎年度	学務課 障害学生支援室	学務課 学生支援課	障害のある学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学修支援体制が整備されていること	分6-5-4
	留学生に対する学修支援体制の整備状況	毎年度	学務課 グローバル教育センター	学務課 学生支援課	留学生に対する学修支援体制が整備されていること	分6-5-4
	成績評価基準の策定、周知状況	毎年度	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	成績評価基準が策定され、学生へ周知されていること	分6-6-2
	成績評価基準に則した各授業科目の成績評価や単位認定の実施状況、その確認の状況	毎年度	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	各授業科目の成績評価や単位認定が成績評価基準に則して実施されていること、また大学としてその確認を実施していること	分6-6-3
	成績に対する異議申立て制度の整備状況	毎年度	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	成績に対する異議申立て制度が整備されていること	分6-6-4
	卒業要件・修了要件（修士論文審査基準含む）の策定、周知状況	毎年度	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	卒業要件、修了要件（修士論文審査基準含む）が策定され、学生へ周知されていること	分6-7-1 分6-7-2 分6-7-3
	論文審査の手続き及び評価基準の策定、周知状況（大学院）	毎年度	大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	論文等の審査に係る手続き及び評価の基準を組織として策定され、学生へ周知されていること	分6-7-2 分6-7-3
卒業要件・修了要件（修士論文評価基準を含む）に則した卒業・修了認定の実施状況	毎年度	学部教務委員会 大学院教務委員会 連合学校教育学研究所 代議委員会	学務課	卒業・修了要件に則した卒業・修了認定が実施されていること	分6-7-4	

点検項目		実施時期	担当委員会等	担当事務組織等	評価基準	機関別認証評価 分析項目番号	
教育	卒業・修了率、就職率（教員就職率）、教員免許取得状況		毎年度	学務課 教員養成・研修企画室	学務課 教員養成・研修 企画室	卒業率、就職率（教員就職率）、教員免許取得の状況が教育目的や学位授与の方針に則した状況にあること	分6-8-1 分6-8-2
	卒業・修了時における学生からの意見聴取による学修成果の把握・確認の状況		毎年度	学務課 学生支援課	学務課 学生支援課	意見聴取の結果から教育目的や学位授与の方針に則した学修成果が得られていること	分6-8-3
	卒業・修了生からの意見聴取による学修成果の把握・確認の状況		毎年度	IR・総合戦略企画室	大学改革・広報 室	意見聴取の結果から教育目的や学位授与の方針に則した学修成果が得られていること	分6-8-4
	就職先等からの意見聴取による学修成果の把握・確認の状況		毎年度	IR・総合戦略企画室	大学改革・広報 室	意見聴取の結果から教育目的や学位授与の方針に則した学修成果が得られていること	分6-8-5
研究	学会での発表，発表論文数等の状況		毎年度	研究推進課	研究推進課	学会発表や論文発表により研究の成果が公表されていること	
	外部研究資金への応募状況，獲得状況 学内での研究費の配分状況		毎年度	研究推進課 財務課	研究推進課 財務課	外部研究資金への応募がなされていること， また獲得していること 学内での研究費が配分されていること	
施設・設備	校地・校舎	面積	改修等工事の 設計段階	キャンパス環境委員会	環境マネジメント課	大学設置基準（大学院設置基準、専門職大学院設置基準含む）を満たしていること	分4-1-1
	建物 屋外活動施設	各建物、スポーツ施設等の配置 講義室、実験・実習室、演習室、研究室等の配置	毎年度	キャンパス環境委員会	環境マネジメント課	大学の目的に応じた施設が法令に基づき整備されていること、利用可能な状況にあること、実際に利用されていること 耐震化やバリアフリー化を進めていること、安全・防犯面の観点から必要な対策を実施していること	分4-1-2
	教育設備	講義室の設備 (机・椅子・黒板、視聴覚機器)	毎年度	学務課	学務課	利用可能な状況にあること、実際に利用されていること	分4-1-3
		その他特別設備 (CALL教室、理系・芸術系・体育系等の各種特殊設備)	毎年度	学務課 研究推進課	学務課 研究推進課	利用可能な状況にあること、実際に利用されていること	分4-1-3
	I C T環境	ネットワークの整備状況 端末・貸出機器の整備・利用状況等	毎年度	学務課 研究推進課	学務課 研究推進課	利用可能な状況にあること、実際に利用されていること	分4-1-4
	図書館	席数、蔵書数、利用者数、貸出冊数等	毎年度	附属図書館	研究推進課	利用可能な状況にあること、実際に利用されていること	分4-1-5
	自主的学修環境	ラーニングコモンズ	毎年度	教員養成・研修企画室	教員養成・研修 企画室	利用可能な状況にあること、実際に利用されていること	分4-1-6
		附属図書館	毎年度	附属図書館	研究推進課	利用可能な状況にあること、実際に利用されていること	分4-1-6
情報処理センター端末室		毎年度	情報処理センター	研究推進課	利用可能な状況にあること、実際に利用されていること	分4-1-6	
音楽練習室		毎年度	研究推進課	研究推進課	利用可能な状況にあること、実際に利用されていること	分4-1-6	

点検項目		実施時期	担当委員会等	担当事務組織等	評価基準	機関別認証評価 分析項目番号
学生支援	学生生活全般の支援	毎年度	学生委員会 連合学校教育学研究科 代議委員会	学生支援課 学務課	相談・助言体制を整備していること、実際に利用されていること 課外活動の支援が行われていること（部活動、自治会活動、自主的研究活動等） 経済的な支援が行われていること （奨学金支給状況、入学料・授業料免除の状況、学生寮の整備・利用状況） 学生との意見交換を行う機会を設定していること	分4-2-1 分4-2-2 分4-2-5
	キャリア支援（就職支援）	毎年度	教職キャリア開発センター	教員養成・研修 企画室	支援体制を整備していること 必要な支援が行われていること （セミナー実施状況、個別進路面談実施状況）	分4-2-1
	留学生支援	毎年度	グローバル教育センター 連合学校教育学研究科 代議委員会	学生支援課 学務課	支援体制を整備していること 必要な支援が行われていること （チューター配置状況、日本語アシスト制度利用状況、日本語補講の授業開設状況、国際交流会館の整備・利用状況）	分4-2-3
	特別な支援が必要な学生の支援	毎年度	障害学生支援室 学務課	学生支援課 学務課	支援体制を整備していること 必要な支援が行われていること （ノートテイク等配置状況、授業担当教員への配慮依頼状況）	分4-2-4
学生受入	入学者選抜の実施体制及び方法	毎年度	学部入学試験委員会 大学院学校教育研究科 入学試験委員会 連合学校教育学研究科 入学試験委員会	入試課 学務課	アドミッションポリシーに基づいた入学者選抜を実施していること 教職志望が強く、適性の高い学生を受け入れるための対策を検討・実施していること	分5-2-1
	結果の検証・改善方策検討状況	毎年度	学部入学試験委員会 大学院学校教育研究科 入学試験委員会 連合学校教育学研究科 入学試験委員会	入試課 学務課	入試区分毎の教学・就職データを分析していること 分析結果に基づく改善に向けた検討を行っていること	分5-2-2